

勿凝学問 307

来年度からの消費税率引き上げを言う 3 人目？を発見
僕、経団連、それに IMF のご登場

2010 年 5 月 20 日

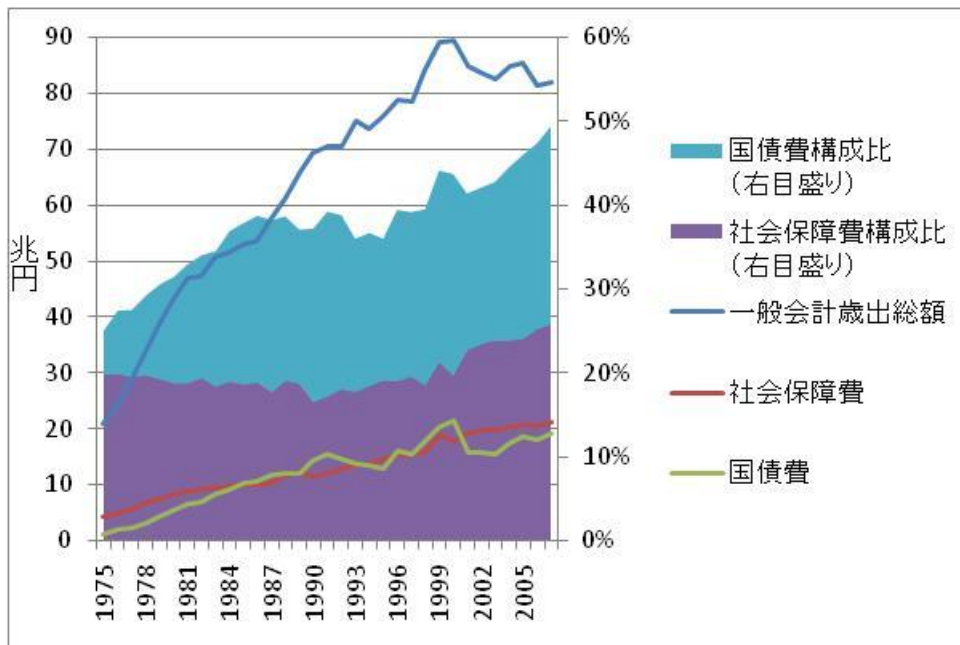
慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

次の記事が本当なら、来年度からの消費税率引き上げを言っているのは、僕と経団連と、そして IMF の 3 人？になるな。

[「消費税増税で 2 3 年度には財政再建着手を」 IMF が声明](#)

ただなあ、「信頼性ある財政再建計画を策定し早期に実施することが、投資復活と経済成長につながる」と言ってるらしいけど、成長がはじまると金利は高くなるよなあ——まっこと頭痛い話だぞ。次の図の中で、金利が上昇して国債費が増えていったら、どうするよ (T_T)トホッ。



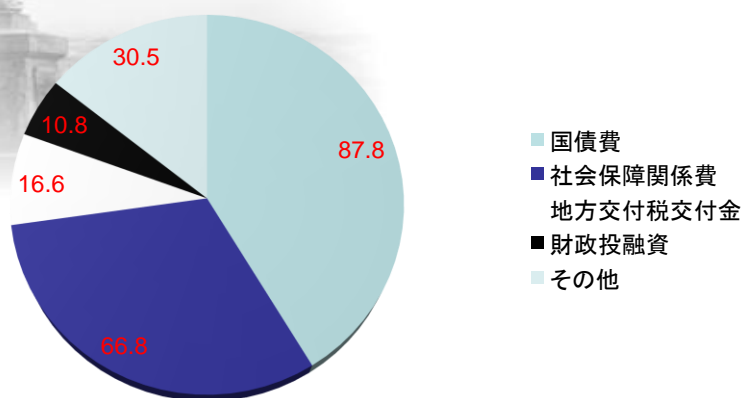
話せばみんながいつも驚く話だけど、一般会計の中での社会保障費と国債費は、この超低金利の下でも同じ規模なんだよね。金利が上がれば、国債費は社会保障費を置いてけぼりにして、ひとりで増えていってしまう。

威勢ばかりいいアンポンタンの中は、一般会計だけをみるからいけないんだ！特別会計をみろっ！・・・と言う人がいるかもしれないけど、2008年度の一般会計と特別会計を足し合わせたのが次。

こっちの図では、国債費 87.8 兆円、社会保障費 66.8 兆円で、国債費の方がはるかに大きいのだ” (^ _ ^ ;)”

国の純支出212兆円の内訳

国の純支出(一般会計と特別会計を合わせたもの:兆円)



未だに、消費税増税について、「私は聞いていない。まず最初に取り組むことは、無駄を省く決断を政治家がすることだ」([毎日.jp](http://www.asahi.com))と言う、昔から、経済原則を政局に従属させることのできる人間が政治のプロだと考えてそんな人が、この国の最高権力者なんだから、もう、笑うしかないだろう(笑笑笑)。ほんっと、あの政党の若手が、昔から党の方針に従順なのが不思議で仕方がない。いったい、何のために若いのやら。

そうそう、この前のみんなの歯科での講演で、「政府側のトップ、内閣総理大臣が党本部からの派遣社員だから仕方がないよね」と言ったら、かなりウケていた。。。

ちなみに、4月1日に出かけた自民党政調会の「安心社会研究会」で、僕は次のような発言をしている。

社会保障国民会議、中期プログラム、平成21年度税制改正附則という一連の動きを一応評価しているけど、平成23年度つまり2011年度からの消費税を含む国民負担率の引き上げを、経済の好転を待つというのは支持できない。経済を好転させるためにも、社会保障国民会議の医療介護シミュレーションB2、B3シナリオを実行

し、負担増は2011年度から行うという方針になぜしなかったのか。

自民党が、「経済状況を好転させることを前提に」という但し書きを書かざるを得なかった理由に、上げ潮派がいたことと、麻生氏の誤解——つまり、1997年の消費税率の上げがその年度の税収の落ち込みの原因とみた誤解があり、そこが自民党の弱点だと、僕は、これまで何度も論じてきた。

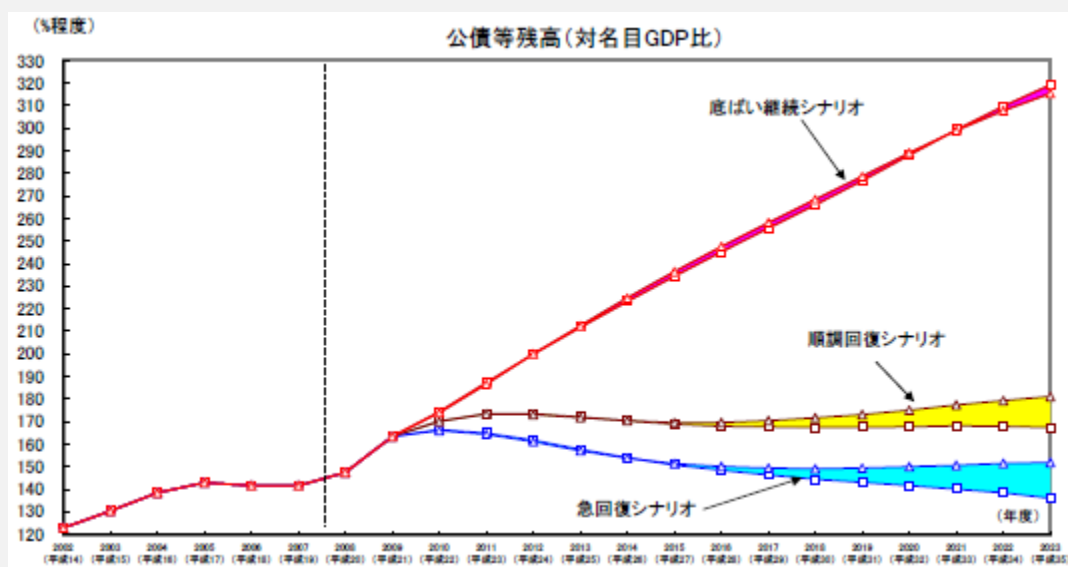
勿凝学問 174 [1997年不況の原因は、本当に消費税率引き上げなのか？——当時の公共事業費削減やアジア経済危機も思い出してあげないと、消費税が可哀想だ](#)

勿凝学問 273 [2008年新春に予測した三つ巴の論戦、その後——天皇誕生日の講演での、「選挙権を国に返上する権利を認めてもらいたい」の意味](#)

最後に、日医の医療政策会議の報告書には、次のようなことを書いている。

[「経済成長と医療政策、これを議論する前提としての国家財政の持続可能性」](#) 22頁

もし経済が回復せず、したがって『中期プログラム』に基づいて、消費税率が5%に据え置かれた場合には、公債等残高（対名目GDP比）は、急勾配で発散していく。



このシミュレーションの意味するところは、『中期プログラム』に記されているように景気が回復しない場合は負担増を行わないとすれば、そのままではいずれ社会保障をはじめとした公共サービスを大幅にカットしなければならないということである。

経済が回復しなければ、医療をはじめとした社会保障の機能強化に向けて、負担増に進むも地獄、退くも地獄。